

優秀賞

(株)グリーンファームテクニカルシステムズ

テーマ：LAMP法を応用した農産物病害迅速診断検査薬の開発

【会社の概要】

- ・所在地：杵築市
- ・代表者：代表取締役社長 下河原 浩介

【受賞プラン概要】

LAMP法(遺伝子検査法)を応用し、農産物に甚大な被害をもたらすべト病、疫病の分生胞子を早期に発見する検査薬を開発、販売する

迅速診断検査薬の特徴

- ・LAMP法を応用していることにより、従来の方法よりも迅速かつ安価で検査が可能
- ・病害の感染源となる分生胞子が空気中に飛散を始めた段階での診断が可能



分生胞子が検出された段階で農薬を散布すれば、効果的に病害の症状を抑えられる

○べト病・疫病とは

- ・ツユカビ科に属する糸状菌(カビ)の一種による植物病害

多くの農産物に感染し甚大な被害をもたらす

(被害作物の例)

- ・タマネギ、ネギ、ニンニクなどのネギ類
- ・キュウリ、スイカ、メロンなどのウリ類
- ・ブドウ、ハウレンソウ、バジル他



○検査薬を使った病害予防策の手順

- 1 県内各地で定期的に空気中に飛散する胞子をフィルターで吸引して捕捉
- 2 捕捉したフィルターを収集
- 3 当社にてフィルターを小片にカットし、それぞれを別の診断薬で迅速診断
- 4 陽性反応が出たら、その地区で当該作物に農薬散布を指導

(イメージ)

